

レジメン名 (治療名)					
FOLFIRI + Pmab					
癌腫	レジメン (略語)	実施区分	抗がん剤適応区分		
大腸癌	FOLFIRI + Pmab	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法	<input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input type="checkbox"/> 局所化学療法 <input type="checkbox"/> その他	
投与順	抗がん剤名 (商品名・略称)	1日投与量	投与経路	投与時間	投与日 (day1、8等)
1	パニツムマブ【Pmab】	6mg/kg	点滴静注	1時間	Day1
2	イリノテカン【CPT11】	150mg/m ²	点滴静注	90分	Day1
3	レボホリナート【l-LV】	200mg/m ²	点滴静注	2時間	Day1
4	フルオロウラシル【5FU】	400mg/m ²	点滴静注	12分	Day1
5	フルオロウラシル【5FU】	2400mg/m ²	点滴静注	46時間	Day1-2
1コースの期間 (次コースまでの標準期間)		2-3週間			
総コース数及び総投与量の限界		PDまで			
プレメディケーション ポストメディケーション		5HT3拮抗薬、デキサメタゾン、アプレピタント			
備考		<p>・(7)はHOME POMP C-SERIES C100020を使用。</p> <p>投与時間が56時間を超える場合は、自己抜針を行って良い。</p> <p>・開始前にKRAS遺伝子が野生型であることを確認する。</p> <p>・ざ瘡用皮疹が出現した際には、外用ステロイドで対応する。</p> <p>予防として、ヘパリン類似物質クリームとミノサイクリンの内服を行う。</p>			

≪投与順≫

(1) 生理食塩液	50mL	
デキサメタゾン 8mg	2V	
オンダンセトロン 4mg	1A	30分
(2) 生理食塩液	100mL	
パニツムマブ	6mg/kg	1時間
(3) 生理食塩液	50mL	30分
(4) 5%ブドウ糖液	500mL	
イリノテカン	150mg/m ²	90分
(5) ソルデム 3A	500mL	
レボホリナート	200mg/m ²	2時間
* (2)、(3) は同時に投与を始める		
(6) 生理食塩液	50mL	5分
(7) フルオロウラシル	2400mg/m ²	
* フルオロウラシル 2250mg 以下 → 生理食塩液 100mL		
フルオロウラシル 2250mg を超える → 生理食塩液 50mL		
生理食塩液と合わせて	全量 95mL	46時間
(8) 生食ロック		10mL

支持療法

アプレピタントカプセル 125mg	1Cap 分 1	1日分
アプレピタントカプセル 80mg	1Cap 分 1	2日分
ヘパリン類似物質クリーム	1日 2回	
ミノサイクリン 50mg	2Cap 分 1	連日